

2027年度ハーバード・イエンチン研究所客員研究員プログラムの募集要項

国際センター

立教大学とハーバード・イエンチン研究所（HYI）の提携により、立教大学の教員を対象に、下記の通り、2027-2028年度客員研究員プログラムの募集を行います。

記

1. 応募概要

Visiting Scholars Program

(1) 対象

本学の専任教員（任期付教員を除く）。本学で3年以上専任教員としての経験がある者（2024年8月1日以前に採用）。ただし過去5年以内（2022年以降）にアジア以外の研究機関で博士号を取得した者、また過去にHYIのVisiting Scholar Fellowshipに採用された者は対象外。年齢不問。ただし中堅研究者が優先される。

(2) 研究分野

人文・社会科学で文化に力点を置いたもの。なお、アジア地域を対象とし、比較研究をとりいれたものが歓迎される。

Anthropology / Archaeology / Area and International Studies / Art and Architectural History / History (including economic and legal history) / Linguistics / Literature / Media and Film Studies / Philosophy/Politics/Study of Religion/Sociology / Women, Gender and Sexuality Studies

* 研究分野が Economics/Education/Geography/Law/Psychology/Public Administration の場合、対象となるかについて事前にHYIに確認する必要がありますので、国際センターにお問い合わせください（問い合わせは国際センター経由となります）。

(3) 派遣期間

2027年8月から11ヶ月

(4) 支給経費・条件：

- Round trip economy class airfare
- A stipend of US \$78,888 distributed over the period of the fellowship
- Health Insurance up to the amount of \$5,500
- Funding (up to \$5,000) for hiring a research Assistant or an editor, and for participating in academic conferences or/and making brief research trips in North America

2. 本学からの推薦枠

最大3名（ただし推薦者全員が必ず採用されるわけではない。）

3. 応募方法

申請希望者は、「4. 提出期限」記載の期限までに、「5. 提出方法」において指定された書類提出方法で、以下の「(1) 応募エントリー」および「(2) 出願書類の提出」を完了させること。

なお以下の（*1）～（*3）の書類は、国際センターHP から所定の用紙をダウンロードし作成すること。それ以外は自由書式のため、HYI の HP 等に掲載されている注意事項を確認の上、各自で作成すること。

（ダウンロード）https://portal.rikkyo.ac.jp/international/related_information/yenching

(1) 応募エントリー (6/26)

以下の様式（*1）に必要事項を記入し提出すること。

○Visiting Scholars Program 2027-2028 Internal Review Application Form（*1）

(2) 出願書類の提出 (8/21)

上記（1）のエントリー完了者は、HYI に提出する以下の書類（①、②、④）を作成し、提出するとともに、③の推薦状（3名分）が推薦者から直接提出されるよう手配すること。なお、書類提出前に、英文校正等を十分に行った上で提出すること。

- ① Research Plan（Application Form 内の注意事項を確認すること）（*2）
- ② A CV(curriculum vitae）（Application Form 内の注意事項を確認すること）
- ③ 英文推薦状 3名分（以下 【③英文推薦状に関する注意事項】を確認すること）
- ④ チェックリスト（*3）

【①Research Plan 作成について】

以下は、HYI が作成している「Helpful Information for Fellowship Applicants」サイトで、作成にあたっての一般的なアドバイスが掲載されているため、研究計画書作成前に確認すること。

HYI サイトリンク

<https://www.harvard-yenching.org/helpful-information-for-fellowship-applicants/>

【③英文推薦状に関する注意事項】

- 1) 推薦状作成にあたっては上記 HYI リンクの「Helpful Information for Fellowship Applicants」の「IV. RECOMMENDATION LETTERS」を確認すること。

- 2) 3名のうち1名は申請者の指導教員、もしくは申請者の学術研究に最も精通している者に依頼すること。
- 3) 推薦状の期限は「4. 提出期限」の「(2) 出願書類の提出」期限と同日。
- 4) 推薦状の宛先(頭語)を国際センターにしないこと。

頭語：To whom it may concern,

HYI 住所：Harvard-Yenching Institute

2 Divinity Avenue, Cambridge, MA 02138 U.S.A

4. 提出期限

- (1) 応募エントリー

2026年6月26日(金) 17:00

- (2) 出願書類の提出 (*応募エントリーを完了した者のみ)

2026年8月21日(金) 17:00

5-1. 提出方法(推薦状以外)

- (1) 及び(2)ともに、電子メールで以下の指定アドレス宛に提出すること。

件名：「ハーバード・イェンチン研究所応募書類(姓_名)」

提出先アドレス：r-hyi@rikkyo.ac.jp

※「3.(2)③」の英文推薦状の提出方法は「5-2. 提出方法(推薦状)」を確認すること。

5-2. 提出方法(推薦状)

推薦状は、申請者を經由せず国際センターからHYIに提出されることが規定されているため、以下の条件で提出すること。

- (1) 推薦状作成者から国際センターにメール提出するように申請者から依頼すること。
- (2) 推薦状は、直筆署名のある推薦状をPDF形式で提出する。
- (3) メール送信先は国際センター宛(r-hyi@rikkyo.ac.jp)とする。
- (4) 推薦状送信にあたってはCC、BCCに申請者は含めないこと。
- (5) 送信時の件名は「ハーバード・イェンチン研究所推薦状(姓_名)」とすること。

*姓_名は被推薦者名

【注】「r-hyi@rikkyo.ac.jp」は、本業務を遂行するにあたり、担当する事務スタッフ2名および学内選考委員の教員のみが、本業務にあたってのみ使用するメールアドレスとなります。申請者には、推薦状の受け取りの有無のみ通知いたします。

6. 推薦者決定方法

国際センター運営委員会内選考委員会による書類選考によりHYIへの推薦者を決定する。

7. 結果通知

学内選考結果については、申請者に、2026年9月1日（火）を目処に推薦者決定結果を通知する。この際、選考委員による提出書類へのアドバイス及び加筆修正が発生する可能性がある。被推薦者となった場合、オンラインシステムを利用し、被推薦者自身がHYIに書類（推薦状を除く）を提出する（9月15日締切）。提出方法については別途通知する。

HYIでの書類選考後、書類選考結果は年内、書類選考通過者は、HYI関係者による英語での面接が行われる（過年度Zoom実施）。最終結果通知は2027年2月下旬の予定。

8. 注意事項（重要）

2026年5月20日(水) 21:00に申請希望者対象のオンライン説明会が開催される予定である。参加を希望する者は、以下のフォームに登録を行うこと（Zoomリンクが自動で届く）。本説明会への出席は任意となる。

<https://forms.gle/vHEG3mA7xTFBjnt87>

9. その他

出願に関する質問事項等については、ハーバード・イエンチン研究所の担当プログラム・オフィサーに回答を求めることができるので、連絡方法等について「10.」の担当事務局まで問い合わせること（個人で直接問い合わせは行わない）。

10. 問い合わせ先

立教大学国際センター 担当：松木・國守 email：r-hyi@rikkyo.ac.jp 内線 4230

11. ハーバード・イエンチン研究所について（参考）

ハーバード・イエンチン研究所（HYI: Harvard-Yenching Institute）は、アルコア・アルミニウム社（Alcoa Aluminum Co.）の創立者であり発明家でもあった、チャールズ M. ホール氏（Charles M. Hall）の遺産を基金として、1928年に財団法人として設立され、アジア地域における人文・社会科学分野の研究奨励推進を通して、文化理解向上に貢献することを目的としている。

"Dialogue among Civilizations"をテーマに、アジア各国から研究者が集い、お互いのネットワークを通じて、活発な研究交流が行われている。ハーバード大学のキャンパス内に位置し、大学の附属研究機関として各種研究助成プログラムを提供・運営しているが、法的にも財政的にも大学からは独立した研究機関であり、理事会の下で、所長（director）と事務局長（Executive Director）が研究所の管理運営を行っている。

<https://www.harvard-yenching.org/>

以上